

4, イチイ科の巨木 Taxaceae

■ イチイ科の巨木は以下に分類する。

4-A イチイの巨木 4-B キャラボクの巨木 4-C カヤの巨木

4-A イチイの巨木 (一位) イチイ科イチイ属 Taxus cuspidata

■ イチイの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 6m 以上の単幹樹、同等評価のイチイの巨木。
- B 幹周おおむね 4~6m の単幹樹、同等評価のイチイの巨木。
- C B 評価以下のイチイの巨木。

※北海道では水松・松・オンコと称する。

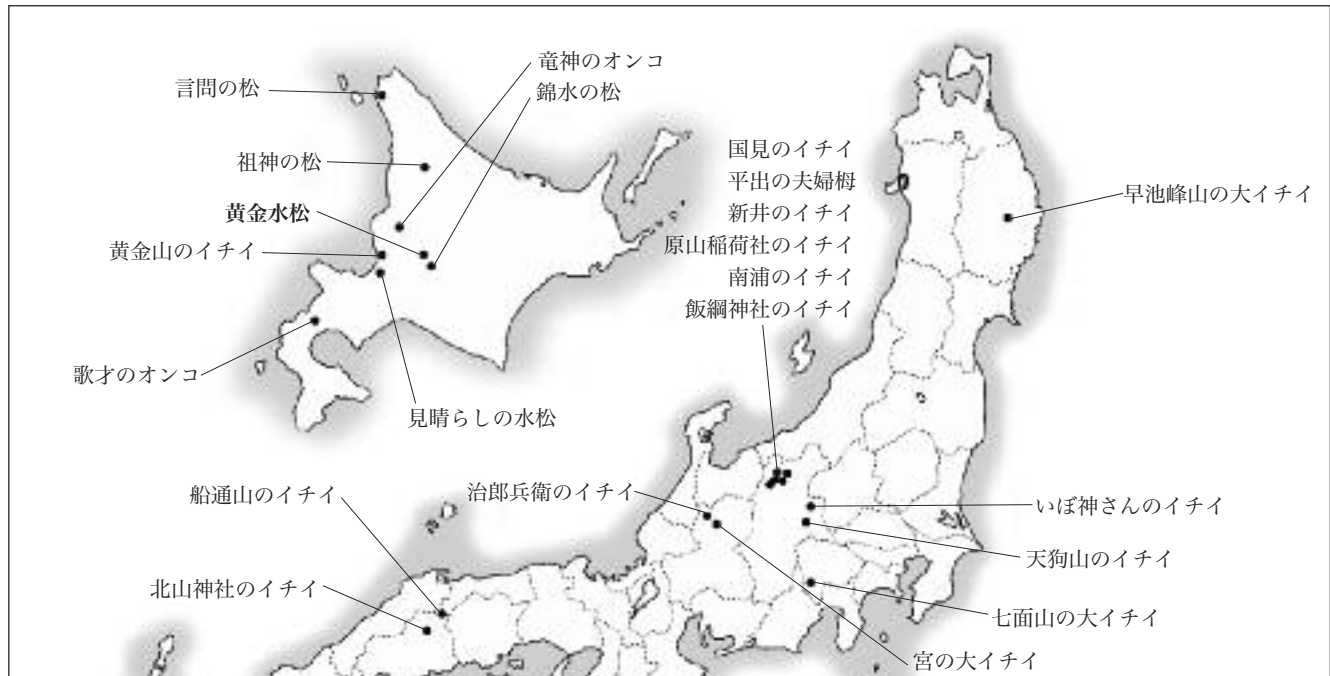


写真 I-001
日本一のイチイ
こがねみずまつ
黄金水松

芦別市は北海道の中央部、旭川の少し南に位置し、芦別の北の山中に黄金水松公園があり、その中央高台に立つ。地上 6m で 2 分岐し、先端に白骨化した部分が見られるものの、枯れかけた巨樹が多い中で、樹勢のよい単幹樹で、日本一のイチイにふさわしいオーラがある。

イチイの日本一選定作業は 2007 年から 2 年間かけて、巨木 DB で幹周データが大きい全国のイチイを M 式測定して決定された。

M 式測定の結果は、

- 日本一とされた治郎兵衛のイチイは 7.95m だが、分岐幹融合樹形で M5.43m(0.3m)で問題外であった。

- 新井のイチイ 6.8m は、M6.9m だが、地上 2m で 4 分岐樹形。

- 平出の夫婦榎(雄株)6.3m は、M6.85m だが、1.5m で二分岐樹形。

- 祖神の松 7.5m は、株周 M5.2m で、根元 2 分岐樹形で問題外。

- 国見のイチイ 7.0m は、M7.15m(上部 0.3m)。数字は大きい、斜面に立ち、根元が広がり、3m で 2 分岐する樹形。

- 宮のイチイ(ツメタの大イチイ)6.9m は、M6.71(上部 0.5m)だが、山地斜面に立ち、根元広がる樹形で、内部が空洞化し、衰弱が見られる。

よって、完全な単幹樹で、樹形もよく、樹勢も旺盛で、ロケーションも良好な「黄金水松」を日本一のイチイと選定した。

■イチイの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

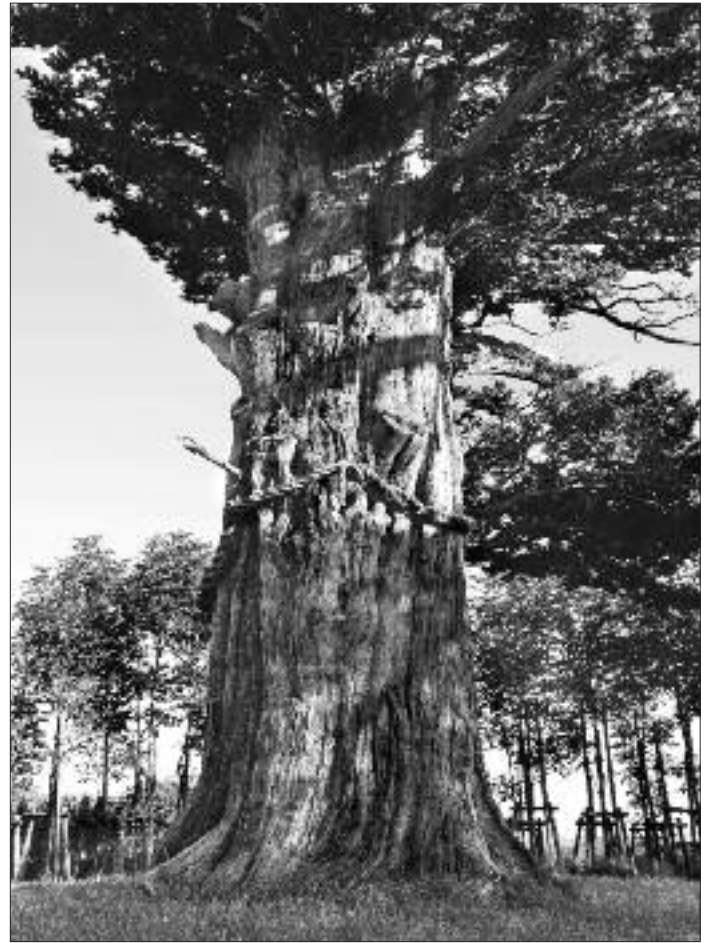
評価	巨木名称	幹 周	樹高	所 在 地	天然記念物 指定
A	黄金水松 写真 I-001	M6.20m(1.3m 2007)	22m	北海道芦別市黄金町 黄金水松公園	市
A	宮の大イチイ 写真 I-002	M6.71m(上部 0.5m 2007)	25m	岐阜県高山市一之宮日影一位	市
A	言問の松 写真 I-003	M4.22m(1.3m 2007)	14m	北海道天塩郡豊富町沼向	道
A	船通山のイチイ 写真 I-004	株周 4.3m 枝張り面積 191㎡	5.4m	鳥取県日野郡日南町上萩山	国
B	新井のイチイ 写真 I-005	M6.9m(1.3m 2008)	20m	長野県長野市鬼無里新井	県
B	平出の夫婦榎(雄株) 写真 I-006	M6.85m(1.3m 2007)	16m	長野県長野市戸隠祖山	市
B	平出の夫婦榎(雌株) 写真 I-007	株周 M5.8m(1.3m 2007)	13m	”	市
B	七面山の大イチイ 写真 I-008	5.9m	21.5m	山梨県南巨摩郡早川町赤沢 奥之院	県
B	治郎兵衛のイチイ 写真 I-009	M5.43m(0.3m 2008)	8m	岐阜県高山市荘川町惣則前畑	国
B	祖神の松 写真 I-010	株周 M5.2m(上部 0.1 2007)	19m	北海道士別市西士別町学田道有林	道
B	黄金山のイチイ 写真 I-011	5.5m	18m	北海道石狩市浜益区	なし
B	国見のイチイ 写真 I-012	M7.15m(上部 0.3m 2007)	19m	長野県長野市小鍋国見 2017	市
B	いぼ神さんのイチイ 写真 I-013	M6.32m(1.3m 2008)	18m	長野県佐久市常和下宮	市
B	歌オのオンコ 写真 I-014	約 4m	不明	北海道寿都郡黒松内町歌オ	なし
B	北村神社のイチイ 写真 I-015	4.4m	17m	広島県庄原市西城町三坂	県
B	竜神のオンコ 写真 I-016	4.88m	14.4m	北海道雨竜郡北竜町恵岱別	なし
B	早池峰山の大イチイ 写真 I-017	4.7m	10m	岩手県花巻市大迫 早池峰山尾根	なし
B	錦水の松	5.0m	20m	北海道夕張市富野錦沢自然の森	なし
B	見晴らしの水松 写真 I-018	4.7m	17m	北海道石狩郡当別町青山奥 5352	道
B	南浦のイチイ 写真 I-019	M5.6m(1.3m 2014)	20m	長野県長野市鬼無里字南浦	村
B	飯綱神社のイチイ 写真 I-020	M5.21m(1.3m 2014)	20m	長野県長野市鬼無里字七つ室	市
B	天狗山のイチイ 写真 I-021	4.65m	15m	長野県諏訪市中洲神宮寺	市
倒木	原山稲荷社のイチイ 写真 I-022	5.1m	13m	長野県長野市戸隠豊岡	村



▲写真 I-002

みや
宮の大イチイ(ツメタの大イチイ)

林道ゲートから徒歩1時間の山中にある。主幹は朽ちて空洞化、樹勢は弱っている。



▲写真 I-003
日本最北端の巨木
ことといのまつ
言問の松

最北端の巨木として有名なイチイ。推定樹齢1200年で、このイチイに聞けば何でも教えてくれるという事から命名された。



▲▶写真 I-004

日本一壮大なイチイ
せんつうざん
船通山のイチイ

船通山の9合目辺りの尾根にある。樹冠占有面積が巨大で、驚くべき姿のイチイである。根元から南方に8本の大枝が伸びて、長い枝は20mにも及ぶ。緩やかな斜面を這うように下って地面を覆っている。(写真・Web画像)

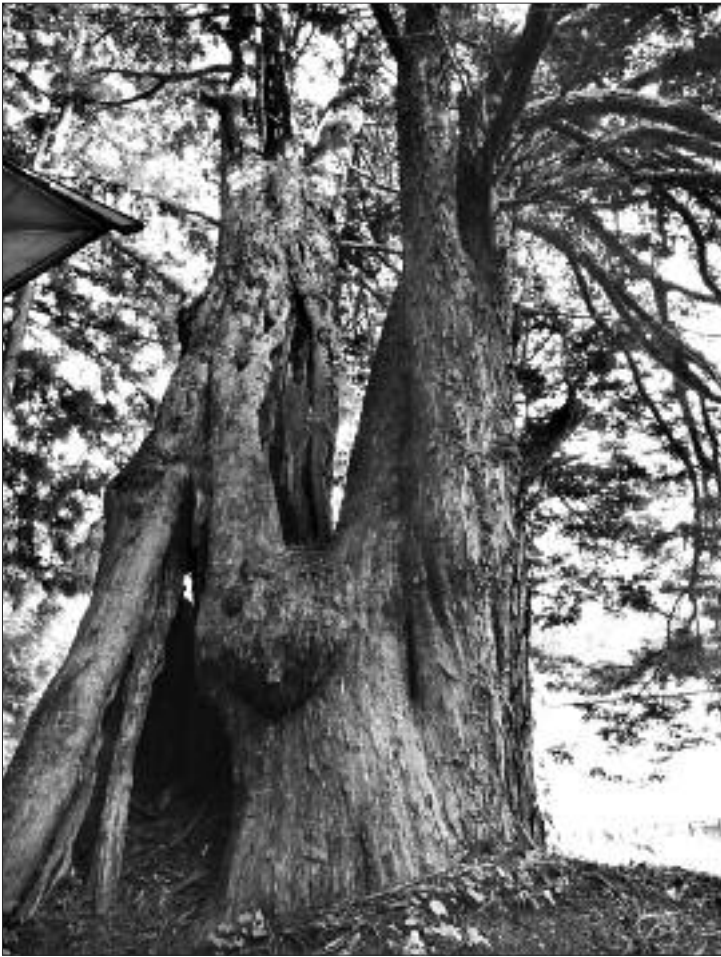


▼写真 I-005

あらい
新井のイチイ

新井集落から約500m入った台地の中央に立つ。樹下に祠があり、地元の御神木。地上2mで4分岐する樹形である。





▲写真 I-006

ひらで めおとつが
平出の夫婦梅(雄株)

名前は梅だが、樹種はイチイ。1.5mで2分岐する樹形である。



◀写真 I-007

ひらで めおとつが
平出の夫婦梅(雌株)

雄株(左写真)より少し離れて立つ。根元で大小2分岐する樹形である。



写真 I-008▶

じろべえ
治郎兵衛のイチイ

幹周 7.95m で日本一のイチイとされてきたが、分岐幹融合樹形である。M式では 5.43m(0.3m)。実感される大きさだ。巨木DBは凹凸に沿っての測定か。



写真 I-010▶

そしん
祖神の松

根元2分岐幹で、根元にもう一本の痕跡があり、もともと3分岐幹であった。巨木DBはその時のデータであろうか。

◀写真 I-009

しちめんざん
七面山の大イチイ

七面山奥之院から20分程山を下った所に立つ単幹樹だが、内部は完全に空洞化が進んでいる。(写真・Web画像)





写真 I-011

ごがねやま
黄金山のイチイ

黄金山麓にある単幹樹で、内部空洞化が進むが、古木の風格ある樹形。

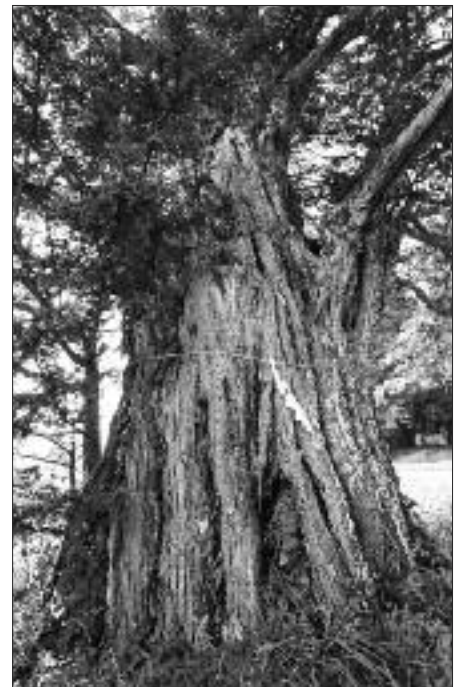
(写真・Web 画像)



▲写真 I-012

くにみ
国見のイチイ

斜面に立ち、大きく根張りが発達し、幹周の数字が大きくなった。しかし、樹高は低い。



▲写真 I-013

がみ
いぼ神さんのイチイ

いぼができたなら小石でこすり、イチイの洞の中に投げ入れると治るとされている。



写真 I-014

うたさい
歌才のオンコ

歌才湿原からさらに奥に1時間程の山中で見られたイチイの巨木。上部で3分岐する樹形。幹周4m程。(写真・黒松内町提供)

▼写真 I-015

きたむら
北村神社のイチイ

トチノキの巨木と並び、上部で2分岐する。

(写真・Web 画像)



写真 I-016▶

りゅうじん
竜神のオンコ

4mで2分岐し、内部は空洞化が進んでいる。上部の主幹は破損、樹勢は弱っている。

(写真・Web 画像)



写真 I-018▶
見晴らしの水松





▲写真 I-017

はやちねさん
早池峰山の大イチイ

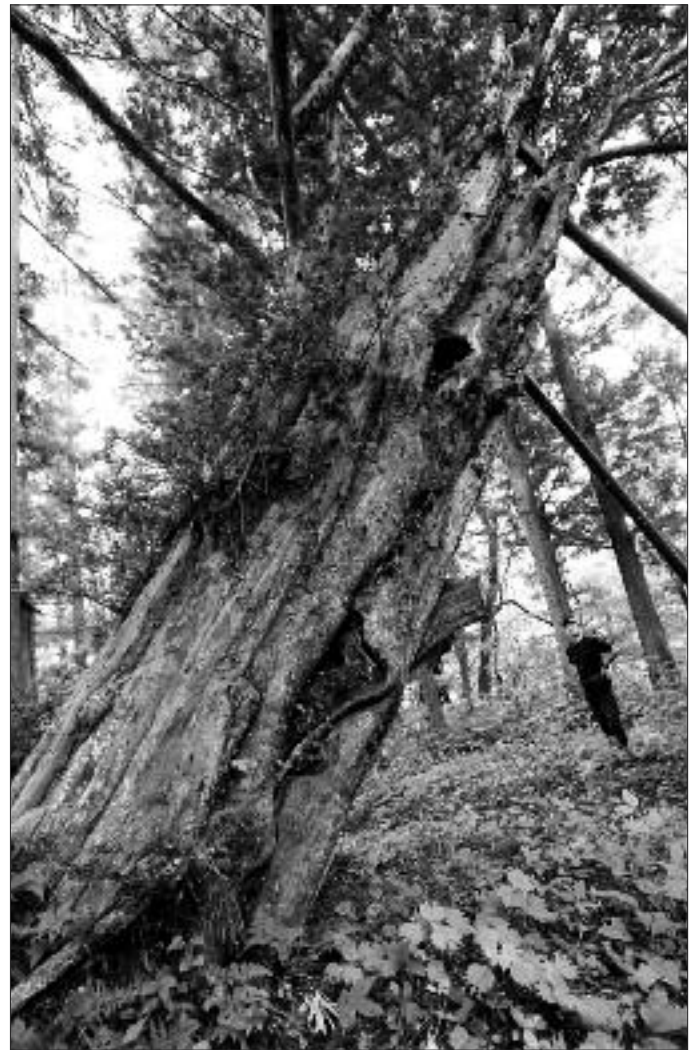
早池峰山から剣ヶ峰に向かう尾根に天然のイチイ群落があり、72本が確認されている。その内の最大株。見事な単幹イチイで、早池峰山の主の風格がある。

撮影・廣野康文(2006年撮影)

▼写真 I-019

みなみうら
南浦のイチイ

3mで6分岐する樹形。分岐幹融合木の可能性がある。



▲写真 I-020

いいつな
飯綱神社のイチイ

荒れた境内で斜上する。M式測定では、中心線に直角に測定する。2mで大小2分岐し、主幹は4mで3分岐する。切断された大枝が5本あり、傾く以前は見事な樹形であった。

▼写真 I-021

てんぐやま
天狗山のイチイ

分岐幹の融合木で、根元に祝殿(長野県中部の同族神の祠)があり、一族の守護神のイチイ。近くに他家の祝殿のトチノキの巨木もある。民族遺産として貴重な存在だ。(写真・原一興)



▼写真 I-022

はらやまいなりしゃ
枯死・原山稲荷社のイチイ

畑地の中にある鄙びた稲荷社の前にあった。根元近くで4分岐する樹形。境内にはマユミの巨木が現存する。(写真・原一興)

